

## アントロポセン時代の国際関係

2022年3月20日発行

星野 智 編著 中央大学出版部発行

本体価格3,500円(税別)

まえがき		
第1章	アントロポセンの地球環境と平和	臼井 久和
第2章	「戦争の世紀」としての20世紀—2つの世界大戦を中心として—	滝田 賢治
第3章	国際公共圏としての南極ガバナンスとその課題	都留 康子
第4章	オーストリアの「核」外交と核なき世界秩序構想の将来	上原 史子
第5章	「国境産業複合体」の構造と実態—米国の利益誘導型国境政治—	川久保文紀
第6章	戦略的ヘッジングの理論と実践—トルコ的外交を事例として—	今井 宏平
第7章	巨大ダムをめぐるハイドロポリティクス —グランド・エチオピア・ルネサンスダム(GERD)を中心に—	星野 智
第8章	ソ連・ロシアにおける安全保障の政策と現実	村井 淳
第9章	中国気候変動外交の展開	飯嶋 佑美
第10章	ル・シャブリエ法とルソー・ヘーゲルの中間団体論 —フランス革命を挟んだ仏独の理論と実際の一断面—	鳴子 博子